

各 都 道 府 県 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 市 区 町 村 教 育 委 員 会 教 育 長 様
全 国 公 立 小 ・ 中 ・ 特 別 支 援 学 校 長 様
教 育 関 係 者 様

全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 職 員 研 究 会
会 長 鳥 本 安 博
第 48 回 全 国 公 立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会
実 行 委 員 長 高 橋 忠 昭

第 48 回全国公立小中学校事務研究大会 (山形大会) の開催について (依頼)

陽春の候、貴職におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より本会の研究活動に対しまして、御理解と御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、第 48 回全国公立小中学校事務研究大会を開催要項のとおり、山形県山形市において開催することになりました。

つきましては、この研究大会を盛大かつ実りのあるものにしたたいと存じますので、貴所属職員の参加につきまして、格段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

第 48 回 全国 公立 小 中 学 校 事 務 研 究 大 会 (山 形 大 会)

開 催 要 項

- 1 大会テーマ 「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」
～ つなごう！「連携・協働」でひらく学校の未来 ～
- 2 目 的 子どもの生きる力を育成するため、学校は地域の多様な主体と熟議し、協働しながら、更なる自主性・自律性を確立していくことが求められている。本大会では、学校が地域とともに学校の総合力を高めるための新たな学校ガバナンスの在り方について追究し、そこに果たす学校事務機能と事務職員の役割を考える。
- 3 主 催 全国公立小中学校事務職員研究会
- 4 主 管 山形県公立小中学校事務職員研究協議会
- 5 後 援 文部科学省 全国都道府県教育長協議会 山形県 山形県教育委員会
山形市 山形市教育委員会 全国市町村教育委員会連合会
全国都市教育長協議会 全国町村教育長会 指定都市教育委員・教育長協議会
山形県市町村教育委員会協議会教育長会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会
山形県連合小学校長会 山形県中学校長会
公益社団法人日本PTA全国協議会 山形県PTA連合会
公益財団法人日本教育公務員弘済会 公益財団法人日本教育公務員弘済会山形支部
教職員共済生活協同組合山形県支部事業所 山形県学校生活協同組合

6 期 日 平成 28 年 8 月 3 日 (水) ～ 8 月 5 日 (金)

7 日 程

9:30		10:30		11:30		12:30		13:30		16:30			
8月3日(水) 全 体 会 (1日目)		受付		開 会 式		テ オ リ シ エ ン		文部科学省 行政説明		昼食 アトラクション		全体研究会	
9:00		9:30				12:30		13:30		16:30			
8月4日(木) 分 科 会 (2日目)		受付				分科会討議		昼食		分科会討議			
9:00		9:30		10:15		11:45		12:15					
8月5日(金) ま と め の 会 (3日目)		受付		大会 報告		記念講演		閉会式					

8 参 加 者 公立小・中・特別支援学校事務職員 その他学校事務担当職員
教育委員会事務局職員及び教育関係者等

9 研究テーマ及び会場

【1日目】

全 体 会	会場	山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング） 1 F集会展示場 山形市平久保 100 番地 TEL(023)635-3100 (定員 2,000 名)
-------	----	--

【2日目】

本部研究分科会 (全事研本部)	テーマ 地域とともにある自律的な学校経営と学校事務 — 学校ガバナンスの確立に果たす地区学校事務室と事務職員の役割 — 会場 山形国際交流プラザ 1 F集会展示場 3-4 (定員 800 名)
第1分科会 (埼玉支部)	テーマ 彩の国 学校事務NEXT! — 地域との協働による学校づくりと事務職員の役割 — 会場 山形市民会館 大ホール 山形市香澄町二丁目9番45号 TEL(023)642-3121 (定員 300 名)
第2分科会 (青森支部)	テーマ 学校事務で、自律的な学校経営と学校ガバナンスを実現する学校事務 共同実施リーダーを目指そう! — 語り合おう! 学校事務共同実施のリーダーシップのスイッチを入れる 方法を獲得しよう! — 会場 山形テルサ 3 Fアプローズ 山形市双葉町一丁目2番3号 TEL(023)646-6677 (定員 200 名)
第3分科会 (岩手支部)	テーマ 笑顔が広がる いい学校を目指して — 岩手の学校事務 て・ん・で・ん・こ — 会場 山形国際交流プラザ 4 F中会議室 (定員 180 名)
第4分科会 (宮城支部)	テーマ 教育課程の編成・実施をサポートする学校財務の在り方 — 教育課程と総額裁量予算制度との適切なかかわりを実現するために — 会場 山形国際交流プラザ 2 F交流サロン (定員 200 名)
第5分科会 (秋田支部)	テーマ 学校の将来ビジョンを共有し主体的に参画できる事務職員を目指して — チーム力で変わる秋田の学校事務 秋田こまちプランを握りしめて — 会場 山形市民会館 小ホール (定員 150 名)
第6分科会 (福島支部)	テーマ 地域とともにある学校づくり — ふくしまの今、そして未来へ 学校事務職員としてできること — 会場 山形国際交流プラザ 2 F大会議室 (定員 200 名)
第7分科会 (山形支部)	テーマ 未来をひらく学校事務を創造しよう — 子どもたちのために一歩先へ — 会場 山形国際交流プラザ 1 F集会展示場 2 (定員 270 名)

【3日目】

まとめの会	会場	山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング） 1 F集会展示場 (定員 2,000 名)
-------	----	---

- 10 文部科学省行政説明 (文部科学省)
- 11 全 体 研 究 会 自律的な学校経営と学校のガバナンス改革 (全事研本部)
— チームとしての学校を実現する自律的な学校経営と事務職員の役割 —
- 12 大 会 報 告 (全事研本部)
- 13 記 念 講 演 演題 「これからの100年をデザインする」
講師 奥 山 清 行 氏 : 工業デザイナー
- 14 大 会 参 加 費 5,000 円

第48回全国公立小中学校事務研究大会（山形大会）

研 究 概 要

1 大会テーマとそのねらい

戦略領域「学校ガバナンス」 大会テーマ「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」

本会が策定した第8次研究中期計画も、3年次になりました。今次研究中期計画では、学校事務のミッションを「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」とし、その年の戦略領域に合わせた大会テーマを設定することとしています。本大会では、戦略領域「学校ガバナンス」に基づき、大会テーマを「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」としました。

平成25年4月に閣議決定された第2期教育振興基本計画では、絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備を推進するため、保護者や地域住民の力を学校経営に生かす「地域とともにある学校づくり」によって、子どもが抱える課題を地域ぐるみで解決する仕組みづくりや、質の高い学校教育の実現を図ることが求められており、「地域とともにある学校づくり」に必要な学校マネジメント力強化の必要性が述べられています。これらのことは、正に、これからの学校ガバナンスを指向するものであり、学校にはこれまで以上に自主性・自律性が求められます。

ガバナンスの概念は多義的に用いられており、定義も様々ですが、一般的に「組織が自らをうまく統治できること」と理解されます。ガバメントが、中央政府や地方の行政府などが上から行う権力的な統治であるのに対し、ガバナンスは、その組織の様々な主体による自主的・自律的な統治と言えます。つまり、組織を構成する複数の主体が当事者意識を持ち、それぞれの責任を果たすことで、より良い組織運営を行っていくことであり、学校が「地域とともにある学校づくり」を推進することは学校ガバナンスと言え、その主体は、学校・家庭（保護者）・地域のほか、関係する教育行政機関や自治体、NPO、企業などが考えられます。

これまでの学校ガバナンスから、地域とともにある学校づくりにおける新たな学校ガバナンスへの変革は学校評価やコミュニティ・スクール（学校運営協議会）などをツールとした、学校経営の在り方の変容からも見て取ることができます。

急激な社会情勢の変化等に伴い、家庭（保護者）・地域の価値観やニーズも多様化している今日において、学校が、家庭（保護者）・地域のニーズに沿った質の高い教育を行うための校長のリーダーシップの確立に向けた環境整備や評価に基づく資源の再配分等、学校のガバナンス機能に果たす学校事務の在り方や、事務職員の役割・キャリア形成・能力開発、地区学校事務室の在り方・役割やリーダーシップについて、次の課題を整理し考えます。

- （1）学校評価と学校ガバナンス
- （2）学校の裁量権限拡大と学校ガバナンス

第8次研究中期計画の3年次となる山形大会は、山形県山形市の山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）を主会場に、市内3か所で開催されます。大会サブテーマである「つなごう！『連携・協働』でひらく学校の未来」には、「連携」と「協働」をキーワードに、「チームとしての学校」及び「地域とともにある学校」の中で、学校づくりにかかわる事務職員の役割を追究したい、との思いが込められています。かつて国内最高気温を記録した暑い山形の地で、学校事務のミッションである「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」の実現に向けて、全国の皆様と熱く語り合ひましょう。

2 全体研究会（1日目）

テーマ 「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」

― チームとしての学校を実現する自律的な学校経営と事務職員の役割 ―

平成27年12月、中央教育審議会「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」の答申が出されました。その答申からも見て取れるように、学校のマネジメント力強化における事務職員の役割の重要性が一層増しています。これからの学校像である地域とともにある学校の実現に向け、チームとしての学校を作り上げていくためには、自律的な学校経営が一層求められます。

第8次研究中期計画の3年次にあたる本大会では、戦略領域である「学校ガバナンス」の具現化に向けた理論研究・実践研究を通して、ミッションである子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を追究します。そして、その実現を目指すため、研究者、学校関係者等をパネリストとしたパネルディスカッションにより、地域とともにある学校づくりを実現するためのチームとしての学校の在り方を確認しながら、そこに果たす学校事務の在り方、事務職員の役割について追究します。

□ 全事研活動報告

3年次を迎えた第8次研究中期計画の成果と課題を確認するとともに、第50回大会後に始まる第9次研究中期計画を公表し、本会が目指すこれからの学校事務と事務職員について参加者と共有します。

□ パネルディスカッション

研究者、学校関係者等をパネリストに招き、チームとしての学校の在り方を確認するとともに、そこに果たす学校事務の在り方、事務職員の役割について参加者とともに考えます。

3 分科会テーマと提案概要（2日目）

大会2日目は全日を分科会に充てています。第8次研究中期計画の3年次、それぞれに積み重ねられた特色ある研究発表と討議が展開されます。

□ 本部研究分科会

本部研究開発部を中心に進めてきた、大会テーマに基づく継続的な研究の提案発表を行います。

「第8次研究中期計画」の3年次にあたる本大会では、今次研究中期計画の基盤となっている「地域とともにある学校づくり」における学校ガバナンスの在り方と、そこに果たす学校事務機能、地区学校事務室及び事務職員の役割について追究します。

□ 第1～7分科会

本大会では、開催地区である東北地区から青森支部、岩手支部、宮城支部、秋田支部、福島支部、山形支部そして隣接地区の埼玉支部にそれぞれ1分科会を担当していただきます。

各分科会では、「自律的な学校経営と学校のガバナンス改革」の大会テーマの下、それぞれの支部で積み上げられた研究に基づく提案と、それを基にした研究討議が行われます。工夫を凝らした分科会運営によって、参加者が今後の実践につながるヒントを見いだすことができるのではないかと期待しています。

※各分科会の提案概要は以降を御覧ください。

本部研究分科会

地域とともにある自律的な学校経営と学校事務

(全事研本部)

— 学校ガバナンスの確立に果たす

地区学校事務室と事務職員の役割 —

1 研究テーマ設定の理由

多様化・複雑化する社会状況の変化等を背景に、子どもを取り巻く環境も急激に変化しています。子どもの生きる力を確実にはぐくむためには、多様な人々との交流や多様な経験がより一層必要であり、子どもの教育に地域社会全体で取り組んでいくことが求められます。地域とともに教育を推進するためには、学校・家庭・地域が、それぞれに果たす責任と役割を自覚しながら、熟議・協働し、自律した学校経営を行うことが必要です。それが学校ガバナンスの確立であると考えます。本分科会では、学校ガバナンスが確立された学校像と、そこに果たす学校事務機能、地区学校事務室及び事務職員の役割について追究します。

2 提案発表の骨子

これからの学校における学校ガバナンスについて整理し、自律的な学校経営につながる学校事務機能の在り方を描きます。その上で、学校ガバナンスの確立に果たす地区学校事務室と事務職員の役割、事務職員の人材育成の在り方について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案を行い、討議の柱にしたがって研究協議を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 地域学校経営における学校ガバナンスの在り方
- (2) 学校ガバナンスの確立に果たす地区学校事務室と事務職員の役割

5 参加者へのお願い

学校ガバナンスに必要な要素や条件整備についての皆様のお考えをお聞かせください。また、具体的な実践など、積極的な発言をお願いします。

第1分科会

彩の国 学校事務NEXT！

(埼玉支部)

— 地域との協働による学校づくりと事務職員の役割 —

1 研究テーマ設定の理由

埼事研は、第三次研究中期計画及びグランドデザインで、目指す事務職員像を「学校の内外をつなぎ広げ、学校力を高める学校運営スタッフとしての事務職員」と定め、研究を進めています。今回の研究は、戦略領域「学校ガバナンス」について、地域との協働による学校づくりの観点から取り上げ、事務職員の役割を考えます。次世代の育成を担う学校で、新しい時代に相応しい学校経営や学校事務、事務職員の役割を念頭にテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

地域との協働による様々な取組が進む中、事務職員は、地域を担っていく子どもをはぐくむための学校づくりにおいて、学校の総合力を高める力を発揮していくことが大切と考えます。これからの学校教育を推進する事務職員の役割と必要な能力と力量形成の在り方について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションを利用した提案と提案内容を受けたシンポジウム形式での研究協議

4 分科会討議の柱

- (1) 地域との協働による学校づくりと事務職員の役割
- (2) 次世代型学校事務、身につけるべき能力と力量形成の在り方

5 参加者へのお願い

会場の参加者との対話を重視した運営を計画します。今後の学校事務の機能や役割についての考え、実践など積極的な発言を期待します。また、地域連携に果たす役割について、各県の実態をお聞かせください。

第2分科会

学校事務で、自律的な学校経営と学校ガバナンスを実現する学校事務共同実施リーダーを目指そう！

(青森支部)

— 語り合おう！ 学校事務共同実施のリーダーシップの
スイッチを入れる方法を獲得しよう！ —

1 研究テーマ設定の理由

自律的な学校運営と地域とともにある学校づくりを実現するために、学校事務の共同実施を活用した事務職員の機能強化を推進し、学校事務共同実施組織のリーダーとして活躍できる事務職員を育成することが必要であると考え、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

学校事務共同実施グループリーダーのリーダーシップ研修の推進を目指した研究を発表します。
地域にあった学校事務共同実施のリーダーシップのスイッチを入れる方法を獲得できれば幸いです。

3 分科会運営の形態

(午前) 研究報告及び研究報告の中にある提案部分をベースにしたミニシンポジウムの開催
(午後) グループ討議 (ワールド・カフェ)、助言者講評

4 分科会討議の柱

- (1) 児童・生徒の夢の実現のための学校事務共同実施グループリーダーの役割について
- (2) 学校ガバナンス (地域とともにある学校づくり) の実現のため、チーム学校としてのリーダーの役割とは

5 参加者へのお願い

共同実施グループリーダーの育成と学校ガバナンスの実現のため、「学校事務共同実施リーダーシップのスイッチを入れる方法」をキーワードに分科会を構成します。分科会後半の参加型討議ワールド・カフェでは、参加者の学校事務共同実施での日頃の実践やアドバイス等の意見をいただき、交流を深めていきたいと思います。

第3分科会

笑顔が広がる いい学校を目指して

(岩手支部)

— 岩手の学校事務 て・ん・で・ん・こ —

1 研究テーマ設定の理由

東日本大震災以後、岩手県では「いわての復興教育」に全県の学校が取り組んでいます。

岩手の学校事務職員は、学校のスタッフとしてやるべきことを見据えて、各地区で様々な実践を行っています。これまでの研究発表から見えてきたのは、それぞれアプローチの方法は違っても目指すものはひとつ、「子どもたちの笑顔」ではないかということでした。チーム学校の一員として積極的に経営にかかわり、子どもたちが笑顔になるための一翼を担うことによって、私たちも笑顔になり、学校事務職員としての存在意義を実感できると考え、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

いわてのグランドデザインで提唱している「目指す学校事務職員の姿」に近づくために、県内各地区で取り組んでいる実践を紹介します。また、その実践を深化させることが、地域に根ざした学校ガバナンス形成にもつながると考え、いい学校づくりのための学校事務職員の役割について提案します。

3 分科会運営の形態

プレゼンテーションによる提案発表、講師によるミニ講演、グループ討議

4 分科会討議の柱

「いい学校づくり」のために学校事務職員は何ができるか

5 参加者へのお願い

子どもの笑顔をイメージとした楽しい分科会にしたいと思います。皆さんの積極的な発言を期待します。

第4分科会

教育課程の編成・実施をサポートする学校財務の在り方

(宮城支部)

— 教育課程と総額裁量予算制度との適切なかかわりを実現するために —

1 研究テーマ設定の理由

学校予算を潜在的カリキュラムと捉え、教育課程と表裏一体のものと考えた場合、歳出科目にも教育課程に即した柔軟性が求められます。それを実現するためには、総額裁量予算制度が適しているという観点から、教育課程と総額裁量予算制度との適切なかかわりを追究したいと考えました。

2 提案発表の骨子

総額裁量予算制度は子どもたちの学びのために有効であるという立場に立って、総額裁量予算制度を実現するために、私たちが考えなければならないこと、あるいは実践しなければならないことについて提案します。

3 分科会運営の形態

前半は講義形式、後半は事例発表を受けてグループ討議を行います。

4 分科会討議の柱

- (1) 特色ある教育活動に係る歳出科目とその運用について
- (2) 総額裁量予算制度下における事務職員の力量形成について

5 参加者へのお願い

教育課程と総額裁量予算制度との適切なかかわりという視点から、仕事上で工夫していること、工夫できること、そして、事務職員に求められる力量についてのイメージを持って御参加くださいますようお願いいたします。

第5分科会

学校の将来ビジョンを共有し主体的に参画できる 事務職員を目指して

(秋田支部)

— チーム力で変わる秋田の学校事務

秋田こまちプランを握りしめて —

1 研究テーマ設定の理由

秋田県では、共同実施の本格実施や、少子化など今後の学校事務を取り巻く大きな変化に対応するため、平成27年4月に秋田学校事務グランドデザイン「秋田こまちプラン」を策定し、私たちの行動宣言としました。「個人から組織へ」意識の改革を図り、事務職員がこれから担うべき役割を考えるために、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

秋田学校事務グランドデザイン「秋田こまちプラン」策定の経緯や、その活用実践例及び成果と課題について発表させていただきます。また、活用による一人一人の意識改革と実践力の向上を土台に、共同実施のチーム力をガバナンス改革にどう生かすかを考え合いたいと思います。

3 分科会運営の形態

事例発表、グループ討議

4 分科会討議の柱

- (1) 自律的な学校経営と事務職員の在り方について
- (2) 学校ガバナンス改革と事務職員の在り方について

5 参加者へのお願い

秋田県公立小中学校学校事務職員研究協議会のHPに、秋田学校事務グランドデザイン「秋田こまちプラン」を掲載しておりますので、事前に御覧の上御参加ください。

第6分科会

地域とともにある学校づくり

(福島支部)

— ふくしまの今、そして未来へ 学校事務職員としてできること —

1 研究テーマ設定の理由

福島県事務研では「福島県事務研グランドデザイン」を策定し、学校事務の協働・連携・組織化の推進、地域社会とのコーディネーター的役割の発揮等、認識の変革と学校事務職員としての役割の定着化を目指し研修してきました。

日頃の実践や取組が、「地域とともにある学校づくり」の一翼を担っているという「気づき」から「学校ガバナンス」について考えていきます。

2 提案発表の骨子

福島県いわき支部の実践発表を中心に、「学校ガバナンス」とは何かを探っていきます。また、福島しか語れない「ふくしまの今」について現状を報告します。

3 分科会運営の形態

午前 ふくしまの今～福島県の現状報告～、講話

午後 これからの世代へ～実践発表、研究協議～

4 分科会討議の柱

(1) 学校事務の協働・連携と「学校ガバナンス」

(2) 「チーム学校」を実現するために学校事務職員としてできることはなにか

— 学校事務の組織化を推進するために —

5 参加者へのお願い

参加の皆様が考える「学校ガバナンス」について実践例やアドバイス等をいただき、次の世代へつなげるための意見交換の場としたいと考えます。

第7分科会

未来をひらく学校事務を創造しよう

(山形支部)

— 子どもたちのために一歩先へ —

1 研究テーマ設定の理由

学校を取り巻く環境が急激に変化する中、「子どもたちのために」自主的・自律的な学校運営に資する学校事務を創造するため、私たち事務職員の在り方と役割を追究していきたいと考えます。また、数年後に迫った世代交代の大きな波。私たちはこの機会を捉えて、職の継承・後輩の育成・資質の更なる向上を進めたいと考え、このテーマを設定しました。

2 提案発表の骨子

山形県では、平成23年に研究ビジョン「やまがた花笠プラン」を策定し、「いのち」輝く子どもたちのために、その具現化に向けて年次的に研修・研究を継続して参りました。しかしその実現には課題も多く、今後その取組を全会員のものとして進めていくために、県内全域での共同実施が必要と考えました。加えて事務職員制度の整備も見据え、全国の先進的取組に学びながら、「山形らしさ」を備えた学校事務と事務職員像を追究します。

3 分科会運営の形態

提案発表 ミニシンポジウム ミニ講義 スピードストーミング 助言者講評

4 分科会討議の柱

(1) 共同実施の効果的運営と、事務職員のキャリア形成及び制度の整備について

(2) 自主的・自律的な学校運営に資する「学校事務」を創造するための事務職員の役割について

5 参加者へのお願い

共同実施の状況と課題について、また、事務職員の在り方と役割について考えていること、実施されていることをお聞かせください。

4 まとめの会（3日目）

大会3日間のまとめとして設定します。大会報告として、各分科会の研究討議の成果や本大会全般の研究
成果・研究課題等を整理してお伝えするとともに、次期開催の第49回全国研究大会（京都大会）の課題等を
確認したいと思います。

5 記念講演（3日目）

演題 「これからの100年をデザインする」

講師 奥山清行氏

奥山清行（おくやま きよゆき） Ken Kiyoyuki Okuyama
工業デザイナー / KEN OKUYAMA DESIGN 代表
1959年 山形市生まれ

ゼネラルモーターズ社(米)チーフデザイナー、ボルシェ社(独)シニアデザイナー、ピニンファリー
ナ社(伊)デザインディレクター、アートセンターカレッジオブデザイン(米)工業デザイン学部長を
歴任。フェラーリ エンツォ、マセラティクアトロポルテなどの自動車やドゥカティなどのオートバ
イ、鉄道、船舶、建築、ロボット、テーマパーク等数多くのデザインを手がける。

2007年よりKEN OKUYAMA DESIGN 代表として、山形・東京・
ロサンゼルスを拠点に、企業コンサルティングのほか、自身のブラ
ンドで自動車・インテリアプロダクト・眼鏡の開発から販売までを
行う。2013年よりヤンマーホールディングス株式会社取締役。2013
年東京モーターショーのスポーツクーペ「kode9」ワールドプレミアに
続き、2015年は「kode9 Spyder」他を発表し話題を呼んだ。また、秋
田新幹線、北陸新幹線、2017年運行開始予定の豪華列車「四季島」、
トラクターを始めとするヤンマー製品など次々に手がけている。

滋慶学園COM グループ名誉学校長、アートセンターカレッジオブ
デザイン客員教授、金沢美術工芸大学客員教授、山形大学工学部客員教授。『フェラーリと鉄瓶』
(PHP出版社)、『伝統の逆襲』(祥伝社)、『人生を決めた15分 創造の1/10000』(KEN OKUYAMA
DESIGN)、『100年の価値をデザインする』(PHPビジネス新書)など著書や、講演活動も行う。



* 1日目の昼食後、^{よもやまかい}四方山会による「花笠踊り」を予定しています。

民俗文化サークル四方山会は、小学生から60代まで総勢180名の会員が、老いも若きも一緒にな
り、お祭りを通じて人と人との親睦を深め、祭りで街を元気にしようと、活動しております。活動
の中心は8月5・6・7日の3日間行われる山形花笠パレードです。毎年パレードのトリを務め、
笠をクルクル回し、時には地を這うように低く、時には空を舞うように高く踊りまわります。

他にも、山形県内外での各種イベントへの出演、県内外の小中学校の「総合的な学習」等で“民俗
芸能としての花笠踊り”の意義を広く啓蒙する運動も進めています。

花笠踊りは徳良湖を築堤する際の土搗き唄に合わせて踊られたことが発祥とされています。私
どもの踊りは、花笠音頭発祥の地といわれている山形県尾花沢市の笠踊りを基にしたものです。花
笠踊りに使うのは、菅笠です。花笠踊りは、菅笠を農作業の道具に見立て、土を掘る、水を汲む、
種を蒔くなどの農作業の動作を表現しています。ぜひ皆様「ヤッショ、マカショ」の掛け声と手拍子
で踊りに御参加ください。

☆☆☆ 全事研からのお知らせとお願い ☆☆☆

◇総会について

全国研究大会に先立ち、次のとおり総会を開催いたします。関係者の方々は定刻までにお集まりください。

[期 日] 平成28年8月2日(火) 受付12時00分 開会12時20分

[会 場] 山形テルサ

〒990-0828 山形市双葉町一丁目2番3号 TEL 023-646-6677

※山形駅西口から徒歩3分です。

◇全事研加入の御案内

全事研は、学校事務の研究・研修の場です。未加入の方(団体)は、手続きをお願いします。

◎全事研加入に関する問い合わせ先

全国公立小中学校事務職員研究会 事務局長 ^{もりやま} 森山 ^{ちかこ} 智香子

所属校 みよし市立北中学校

所在地 〒470-0204 愛知県みよし市三好丘桜一丁目1番1号

TEL 0561-36-4565 FAX 0561-33-0006

☆☆☆ 実行委員会からのお知らせとお願い ☆☆☆

■ 参加申込みについて

※ 本大会は、Webによる申込み(大会参加・弁当・宿泊・シャトルバス)を原則とさせていただきます。

※ 弁当・宿泊・シャトルバスの申込みは、(株)近畿日本ツーリスト東北 山形支店との旅行契約となります。

○ 大会Webページ <http://jump2016.yjimu.jp/>

Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。

参加分科会・宿泊は申込み受付順ですが、Web申込みを優先させていただきます。

FAXによる申込みの場合は、分科会の受付処理を受付期間終了日以降に行いますので、御希望の分科会に参加できない場合もあります。

希望の分科会に定員を上回る参加申込みがあった場合は、本部研究分科会に参加していただきます。あらかじめ、御了承ください。

1 受付期間 平成28年5月16日(月) ～ 平成28年6月15日(水)

※ 受付期間終了後の参加受付は、大会当日受付のみとなります。
(大会当日の参加受付は、山形国際交流プラザのみで行います。)

大会には、発券(印刷)した「研究集録引換券」「分科会参加券」「弁当引換券」「シャトルバス乗車券」を必ず御持参ください。(申込みの手順及び発券期間は、14ページを御確認ください。)

- 2 大会参加の取消し（弁当・宿泊・シャトルバスの変更等は以下の(1) (2)を参照してください。）
参加費支払後は、理由の如何にかかわらず、大会参加取消し及び参加費の返金はできません。
後日、研究集録を送付いたします。（送料着払い）

(1) Web で申込まれた方は受付期間中はWeb で、受付期間を過ぎた場合はFAXで手続きをしてください。電話による変更・取消しは受付いたしません。

(2) 変更・取消しにて生じた差額は、大会終了後に取消料・振込手数料を差し引いて返金いたします。

＜取消料＞

取消日	21 日前まで	20 日～ 8 日前まで	7 日～ 2 日前まで	前日	当日
弁当	無料	無料	無料	100%	100%
宿泊	無料	20%	30%	40%	100%
シャトル バス	無料	20%	30%	100%	100%

- 3 参加費等の支払 銀行振込又はクレジットカードにてお支払いください。
※ 振込手数料（銀行振込）は各自で御負担願います。
- 【銀行振込】 最寄りの金融機関より、次の口座に振り込みをお願いします。
 ≪振込先≫ 三菱東京UFJ銀行 振込第二支店
 普通預金口座 8481696 株式会社近畿日本ツーリスト東北
 ≪振込期限≫ 申込終了後2週間以内に、振り込んでください。
- 【クレジット支払】 クレジットカードでのお支払いは、Web の案内を御覧ください。
 ※ クレジットカードでのお支払いの場合、請求者名は、
 「近畿日本ツーリスト」となります。

4 そ の 他

- (1) 手話通訳の希望、車椅子で参加される方は、大会申込みの際にお知らせください。詳細は、後日、E-mail 又はFAXにて御連絡させていただきます。
- (2) 申込みにあたっての個人情報については、本大会のみに利用させていただきます。

■ 研究集録の引換え

- 大会期間中、山形国際交流プラザ1階受付で「引換券」と「研究集録」を引き換えます。
但し、2日目からの参加を申し込まれた方で、山形国際交流プラザ以外の分科会に参加される方には分科会会場受付にて引き換えます。
- 当日不参加の方は、あらかじめ当日参加される方に引換券を預けていただき、代理受領をお願いします。受け取りがない場合は、後日、送料着払いで発送します。
- 資料参加の方は、大会参加の方に代理受領していただくか、後日、送料着払いで発送します。

■ 昼食について

- 1 日目及び2日目の弁当を1食1,000円（お茶付き）で斡旋します。
参加申込みの際に注文をしてください。弁当引き換えは、当日会場にて13:30まで行います。
必ず弁当引換券（紙ベース）を御持参ください。
- ※ 山形国際交流プラザ周辺には飲食店はありません。弁当を利用されることをお勧めします。
 ※ 当日の弁当注文は受け付けません。御了承ください。

■ 宿泊について

本大会では参加申込みの際に、宿泊等の受付を行います。

詳しくは14ページの「Webによる申込み方法」を御覧ください。

- 1 宿泊施設一覧は16、17ページを参照してください。詳細についてはWebで御覧いただけます。
一泊朝食付きの料金（税・サービス料込み）が基本です。
- 2 シングルルーム以外で申込まれる場合は同室希望の方の氏名も記入してください。
- 3 FAXで申込まれた場合、御希望のホテルが満員に達した時は、他のホテルへの配宿を行う場合がありますので、あらかじめ御了承ください。
- 4 チェックインは原則として15:00から、チェックアウトは10:00となります。それ以外の場合は、追加料金が必要となることがあります。

■ 領収書について

領収書を希望される場合は、申込みサイトから依頼してください。

■ 交通・駐車場について

- 1 山形国際交流プラザ（全体会・分科会・まとめの会会場）
山形駅東口から路線バスで約30分です。時刻表については、「山交バス」のホームページ（路線バス時刻表→山形市内路線→『県立中央病院～ヒルズサンピア』）で御確認ください。
JR奥羽本線・仙山線では、羽前千歳駅（山形駅より約6分）下車、徒歩15分です。
（15ページ参照）
*山形駅西口より予約制のシャトルバス（臨時バス）を準備しておりますので御利用ください。
山形国際交流プラザの駐車可能台数は1,000台です。駐車場は無料です。
- 2 山形市民会館（第1・第5分科会会場）
山形駅東口より徒歩7分です。
駐車場は有料となります。また、駐車台数には限りがあります。
- 3 山形テルサ（第2分科会会場）
山形駅西口より徒歩3分です。
駐車場は有料となります。また、駐車台数には限りがあります。

■ シャトルバスについて

山形駅西口特設乗り場と山形国際交流プラザ間のシャトルバス（臨時バス）を運行いたします。

料金は片道券600円（乗車日指定）となります。必要分申込みください。

- 8月3日（水）【往路】山形駅西口発 8:45～9:40 発【復路】山形国際交流プラザ発 16:40～17:30 発
8月4日（木）【往路】山形駅西口発 8:00～9:00 発【復路】山形国際交流プラザ発 16:40～17:30 発
8月5日（金）【往路】山形駅西口発 8:00～9:00 発【復路】山形国際交流プラザ発 12:30～13:20 発

※満席になり次第、随時発車いたします。

■ 環境配慮について

本大会は環境に配慮して運営いたしますので、クールビズで御参加ください。また斡旋した弁当以外のごみは各自でお持ち帰りください。

■ 録音等について

文部科学省行政説明及び記念講演の録音、録画、写真撮影は、一切行わないでください。

■ 問い合わせ

◇ 大会全般に関すること

第48回全国公立小中学校事務研究大会（山形大会）実行委員会 事務局長 ^{しんぐう}新宮 ^{としひろ}利浩
〒991-0003 寒河江市大字西根430番地 寒河江市立陵東中学校
TEL 0237-83-3210 FAX 0237-86-1731

◇ 参加申込み・宿泊・弁当・シャトルバスに関すること

(株)近畿日本ツーリスト東北 山形支店

「第48回全国公立小中学校事務研究大会 山形大会」

担当デスク：後藤・滝口

〒990-0039 山形市香澄町二丁目2番39号 須藤ビル4F

TEL 023-632-3211

FAX 023-625-7351

E-mail yamagata@or.knt-th.co.jp

営業時間 月～金 9:15～18:00（土日祝日は休業）

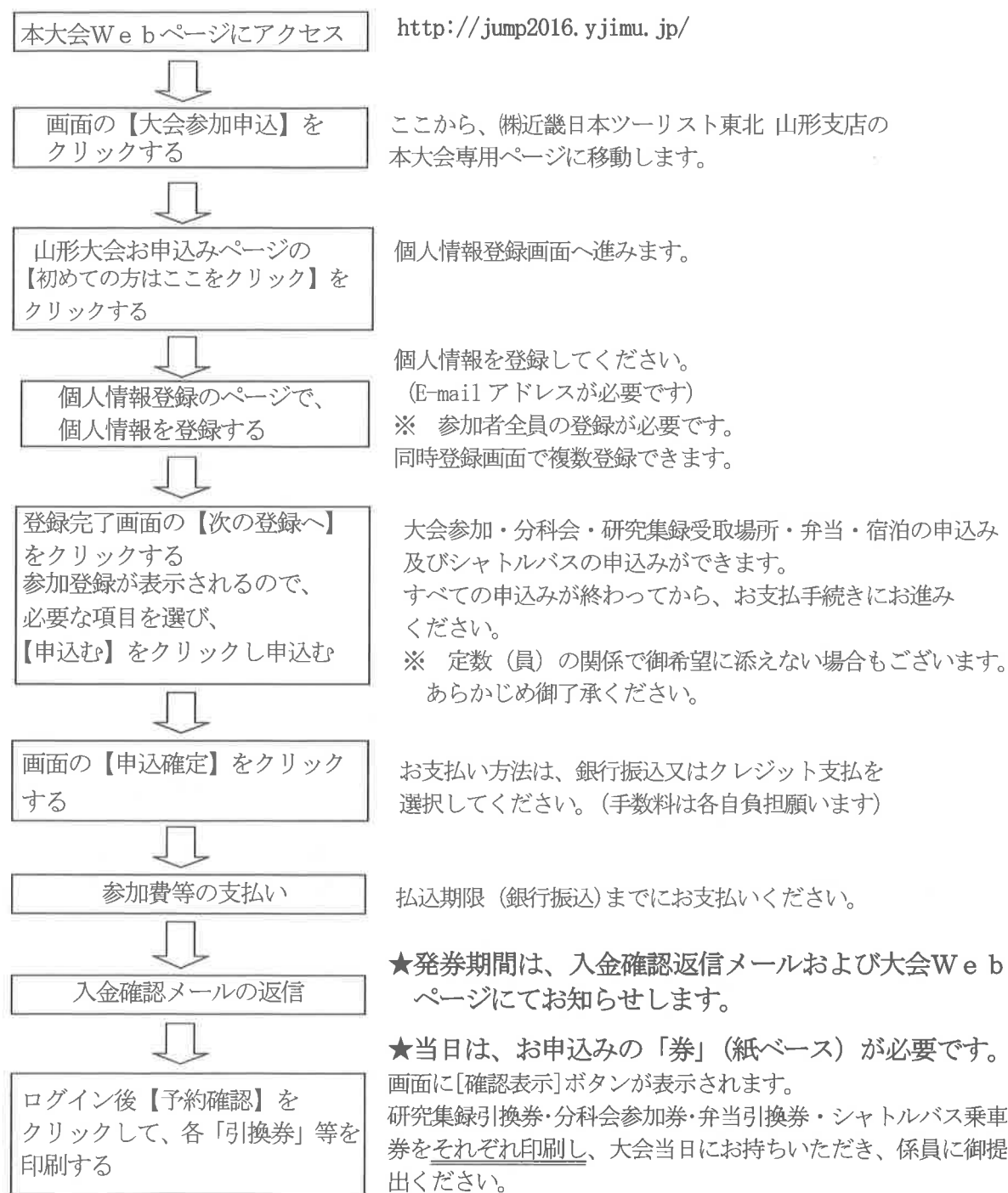
※FAX・E-mailでのお問い合わせは、御連絡までにお時間をいただく場合があります。

※大会期間中の連絡先については、本大会Webページにて御案内いたします。全体会会場や分科会会場へ直接問い合わせをされないようお願いいたします。

☆☆☆ 大会参加申込み方法 ☆☆☆

○ Webによる申込み方法

(大会参加・弁当・宿泊・シャトルバス)



○ FAXによる申込み方法

Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。

18ページのFAX専用大会参加申込書に必要事項を記入し、送信してください。FAXで申込みをした後、(株)近畿日本ツーリスト東北 山形支店より受領代表者宛に請求書が郵送されますので、内容を確認していただき、参加費等の振込みをお願いします。入金確認後、参加券等をお送りします。

※ 御希望のホテルが満員になった場合は、他のホテルへ変更していただくことがあります。あらかじめ御了承ください。

○ 会 場 一 覧

会 場 名		会 場 案 内
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 1 F 集会展示場	全 体 会 記 念 講 演 ま と め の 会	山形駅から ・大会シャトルバス 約20分 片道券600円 ※1 ・JR奥羽本線(新庄方面行き)又はJR仙山線(仙台方面行き)へ乗り換え 羽前千歳駅東口から 徒歩 約15分 ※山形駅ー羽前千歳駅 約6分 190円 羽前千歳駅は無人駅です。 ※2 ・路線バス 2番乗り場(山形駅東口) (花楸経由県立中央病院行き) ビッグウイング前 下車 ※山形駅前ービッグウイング前 8:08発 8:51発 9:11発 10:01発 約30分 340円 ・タクシー 約15分 約2,500円 山形空港から 山形空港シャトル(バス)(山形市内行き) ※山形空港ー山形駅 約35分 980円 山形駅下車 山形駅からは、大会シャトルバス・JR・路線バス・タクシーに乗り換え
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 1 F 集会展示場3ー4	本部研究分科会 (全事研本部)	
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 4 F 中 会 議 室	第 3 分 科 会 (岩手支部)	
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 2 F 交 流 サ ロ ン	第 4 分 科 会 (宮城支部)	
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 2 F 大 会 議 室	第 6 分 科 会 (福島支部)	
山形国際交流プラザ (山形ビッグウイング) 1 F 集会展示場2	第 7 分 科 会 (山形支部)	
山 形 市 民 会 館 大 ホ ー ル	第 1 分 科 会 (埼玉支部)	山形駅東口から 徒歩7分
山 形 市 民 会 館 小 ホ ー ル	第 5 分 科 会 (秋田支部)	
山 形 テ ル サ 3 F ア プ ロ ー ズ	第 2 分 科 会 (青森支部)	山形駅西口から 徒歩3分

※1 JR奥羽本線 0～2本/1時間、JR仙山線 1～2本/1時間

※2 路線バス 1～2本/1時間

なにかと交通不便な地域です。時間に余裕を持ってお越しください。

○ 市内案内図



○ 宿泊の御案内

8月2日(火)、3日(水)、4日(木)

表示料金は、一泊朝食付き税サービス料込みのお一人様あたりの料金です。(※朝食不要の場合も同料金)

	宿泊施設名	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金	最寄駅（山形駅）	地図番号	最寄りの インター
山 形 市 内	ホテルメトロポリタン山形	A－1	シングル	10,500 円	山形駅直結	①	山 形 蔵 王 又 は 山 形 中 央
	山形国際ホテル	B－1	シングル	8,000 円	駅東口 徒歩 5 分	②	
		B－2	ツイン	7,500 円			
	ホテルキャッスル山形	C－1	シングル	8,500 円	駅東口 徒歩 7 分	③	
		C－2	ツイン	8,000 円			
	ホテルルートイン山形駅前	D－1	シングル	7,800 円	駅西口 徒歩 2 分	④	
	山形駅西口ワシントンホテル	E－1	シングル	8,000 円	駅西口 徒歩 2 分	⑤	
	ホテルニューマープル	F－1	シングル	7,500 円	駅東口 徒歩 4 分	⑥	
	山形七日町ワシントンホテル	G－1	シングル	8,000 円	駅東口 徒歩 15 分	⑦	
	ホテルアルファワン山形	H－1	シングル	6,500 円	駅東口 徒歩 10 分	*⑧	
	アパホテル<山形駅前大通>	I－1	シングル	7,500 円	駅東口 徒歩 7 分	*⑨	
	ソーレインホテルズ	J－1	シングル	6,000 円	駅東口 徒歩 1 分	*⑩	
コンフォートホテル山形	K－1	シングル	7,500 円	駅東口 徒歩 2 分	⑪		
山形グランドホテル	L－1	シングル	8,000 円	駅東口 徒歩 15 分	⑫		
	L－2	ツイン	7,000 円				

*⑧⑨⑩の施設については軽朝食での御案内となります。

8月5日(金) 山形花笠祭り(8/5~8/7)のため宿泊料金が高くなります。

表示料金は、一泊朝食付き税サービス料込みのお一人様あたりの料金です。(※朝食不要の場合も同料金)

	宿泊施設名	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金	最寄駅（山形駅）	地図番号	最寄りの インター
山 形 市 内	ホテルメトロポリタン山形	A－1	シングル	13,500 円	山形駅直結	①	山 形 蔵 王 又 は 山 形 中 央
	山形国際ホテル	B－1	シングル	10,000 円	駅東口 徒歩 5 分	②	
		B－2	ツイン	9,000 円			
	ホテルキャッスル山形	C－1	シングル	10,500 円	駅東口 徒歩 7 分	③	
		－	－	－			
	ホテルルートイン山形駅前	D－1	シングル	9,000 円	駅西口 徒歩 2 分	④	
	山形駅西口ワシントンホテル	－	－	－	－	－	
	ホテルニューマープル	F－1	シングル	※未定	駅東口 徒歩 4 分	⑥	
	山形七日町ワシントンホテル	－	－	－	－	－	
	ホテルアルファワン山形	H－1	シングル	7,000 円	駅東口 徒歩 10 分	*⑧	
	アパホテル<山形駅前大通>	－	－	－	－	－	
	ソーレインホテルズ	J－1	シングル	6,000 円	駅東口 徒歩 1 分	*⑩	
コンフォートホテル山形	K－1	シングル	※未定	駅東口 徒歩 2 分	⑪		
山形グランドホテル	－	－	－	－	－		

*⑧⑩の施設については軽朝食での御案内となります。

※料金未定施設につきましては、決定次第ホームページにて御案内いたします。(5月上旬目処)

※FAXでのお申込みの際は、必ず申込み記号を明記してください。

申込み順での御案内となりますのでお早めにお申込みください。なお、部屋数に限りがあります。御希望に添えない場合もありますので、あらかじめ御了承願います。ツインルームを御希望の場合は、同室者名を御記入ください。



FAX 023-625-7351
(近畿日本ツーリスト東北 山形支店 後藤宛)
締切 6月15日(水)

第48回全国公立小中学校事務研究大会(山形大会)

FAX専用大会参加申込書(枚中 枚)

申込み日 月 日

旅行条件及び旅行手配に必要な範囲内での運送宿泊機関、保険会社等への個人情報の提供について同意のうえ、本旅行に申込みます。

都道府県	フリガナ	フリガナ
	学校名 (所属名)	申込者
フリガナ		
住所 (回答先)	〒	
	TEL	FAX

研究集録 受取場所	☐ 全体会会場 ☐ 分科会会場
--------------	---

参加希望 分科会	分科会名	集録のみ希望	※希望分科会が定員を上回った場合、本部研究分科会へ参加いただくこととなります。

※ 希望分科会名は、本部研究分科会は「本部」、第1分科会は「1」(以下同様)と記入してください。

※ 集録のみ希望される方は、送料着払いにて送付いたします。

宿泊	8月2日(火)	8月3日(水)	8月4日(木)	8月5日(金)	同室者氏名・学校名
第1希望	ホテル名	ホテル名	ホテル名	ホテル名	
	記号	記号	記号	記号	
第2希望	ホテル名	ホテル名	ホテル名	ホテル名	
	記号	記号	記号	記号	

弁当 (お茶付) 1,000円	8月3日(水)	8月4日(木)	大会参加券等 受領代表者名
	☐ 申込む ☐ 申込まない	☐ 申込む ☐ 申込まない	

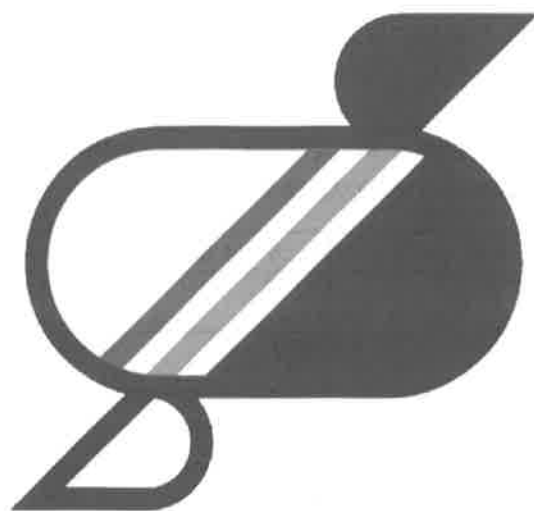
シャトルバス 片道券600円	8月3日(水)	8月4日(木)	8月5日(金)
	☐ 往路 ☐ 復路	☐ 往路 ☐ 復路	☐ 往路 ☐ 復路

連絡事項	☐ 手話通訳を希望	☐ 車椅子を使用
	☐ その他 ()	

※ 申込上の留意事項

- Web申込みできない環境にある場合のみ、FAXによる申込みを受け付けます。
- 受領代表者は、大会参加者に限ります。
- 個人参加の場合は、受領代表者＝申込者となります。
- 大会参加券・各種利用券は、受領代表者の方宛にまとめて送付します。
- 請求書は、参加者ごとに費用明細が記入されます。(送金は極力まとめてください。)
- 受領代表者名が無記入の場合は、任意で選ばせていただきます。
- アレルギー等につきましては、個人でホテル等にお問い合わせいただきますようお願いいたします。
- 領収書を希望される方は、「連絡事項 その他」の欄にその旨を御記入ください。

子どもの豊かな育ちを支援する学校事務



全国公立小中学校事務職員研究会

URL: <http://zenjiken.jp> E-mail: info@zenjiken.jp